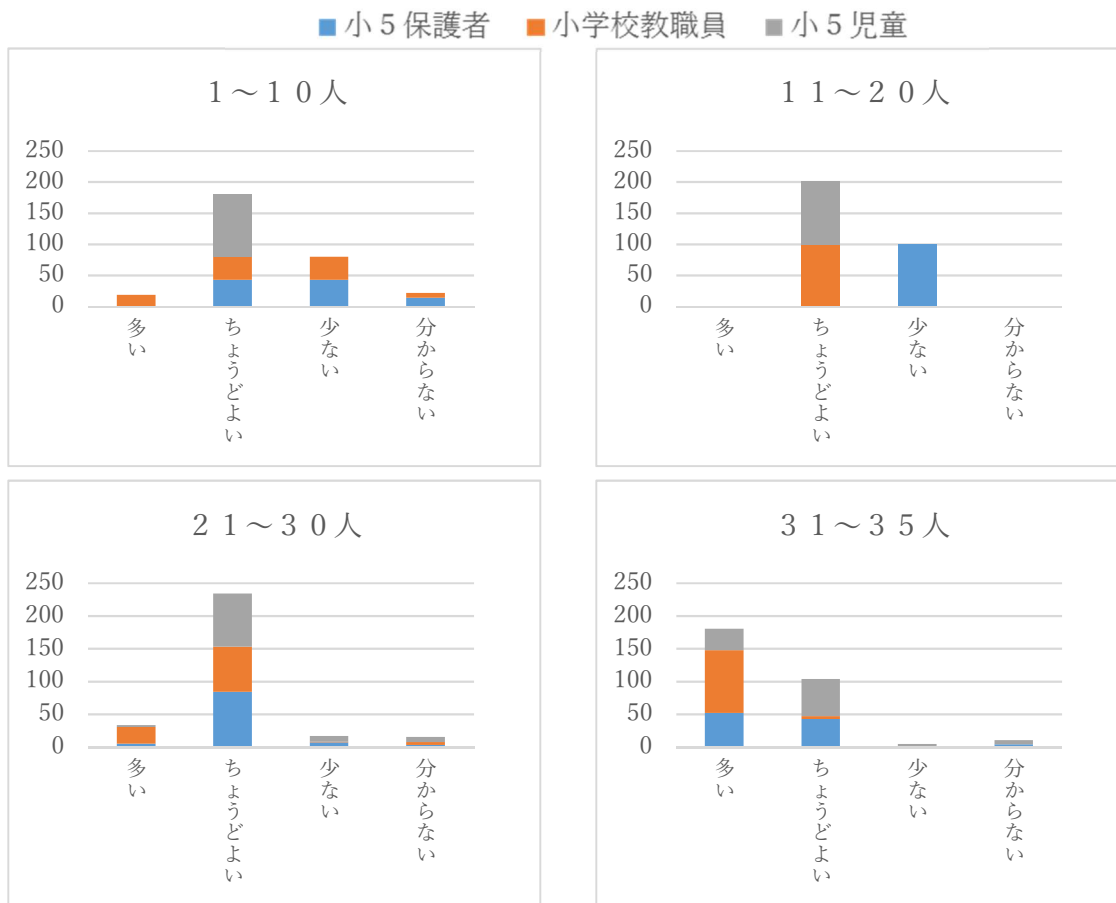


【Ⅰ 1つの学級における児童生徒数について】

1 小学校

(1) 現在、在籍している学級の児童数についての印象（単位：％）



- ・「ちょうどよい」の割合は、すべての対象者で「21～30人」の割合が高く、続いて「11～20人」の保護者以外の割合が高い。
- ・「31～35人」では「多い」の割合が高くなっているが、児童は他の対象者よりも「31～35人」を「ちょうどよい」と感じている割合が突出して高い。
- ・「1～10人」では、保護者と教職員の4割、児童のすべてが「ちょうどよい」と回答。
- ・教職員では、「21～30人」「31～35人」を「多い」と回答した割合が他よりも高い。

(2) 1つの学級における適切な（理想的な）人数について（単位：％）

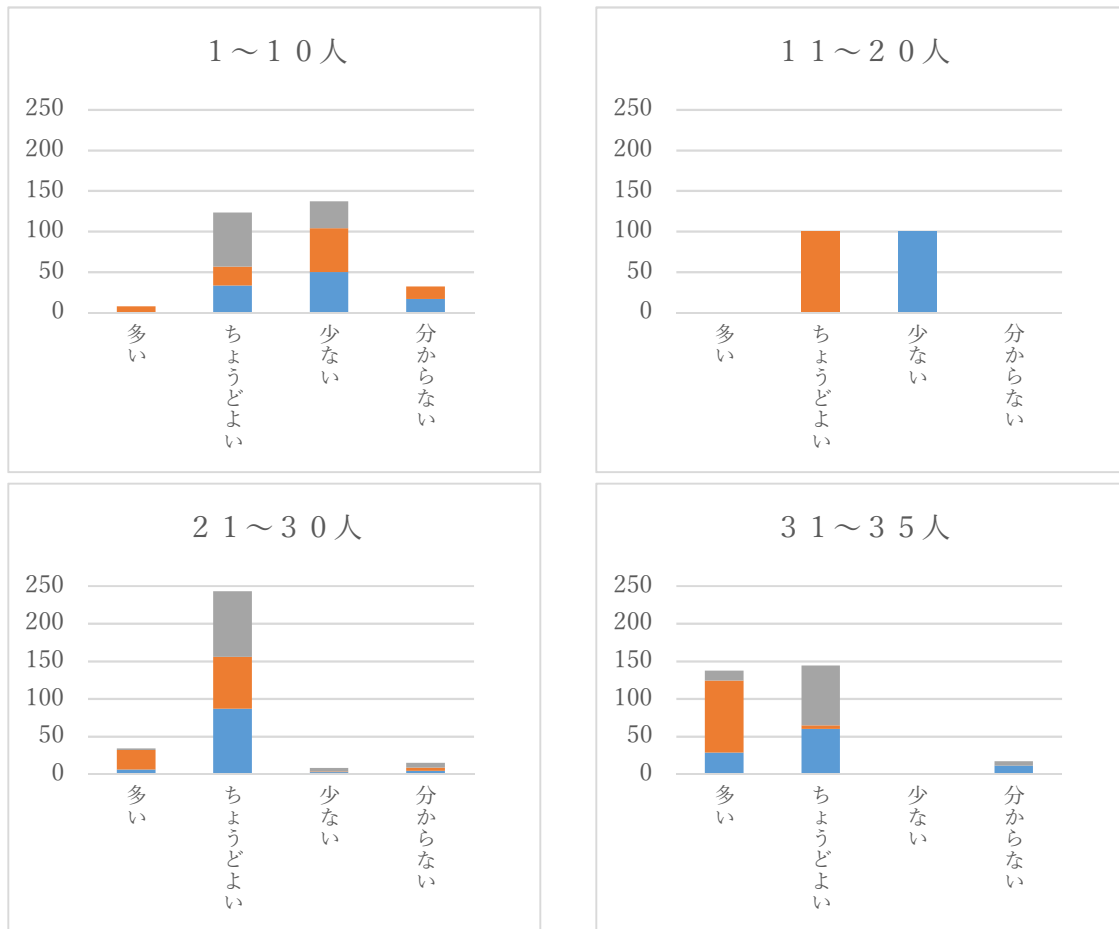
対象者	1～10人	11～20人	21～30人	31～35人
小5保護者	0.4	10.8	75.0	13.7
未就学児保護者	0.0	28.4	64.2	7.4
小学校教職員	3.0	26.8	69.6	0.6
中学校教職員	0.0	32.1	67.0	0.9
小5児童	1.4	9.9	58.0	30.7

- ・すべての対象者において「21～30人」を適切な人数とする割合が高かった。次に「11～20人」の割合が高い。
- ・児童は「31～35人」を適切と考える割合が30%超となっているが、教職員は1%を切っている。アンケートの記述からは、教職員の立場からは、1学級の人数が30人を超えると目が行き届かず、指導しにくいと感じていることが分かった。
- ・小学校と中学校と比較すると「11～20人」を適切と考える割合が高く、「31～35人」の割合が低い。小学校の方が1学級の人数が少ない方がよいと考えていると考えられる。

2 中学校

(1) 現在、在籍している学級の生徒数についての印象（単位：％）

■ 中2保護者 ■ 中学校教職員 ■ 中2生徒



- ・すべての対象者で「21～30人」が「ちょうどよい」と感じている割合が高い。
- ・「11～20人」では、100%の教職員が「ちょうどよい」と回答しているが、保護者は「少ない」と回答している。
- ・「31～35人」では、生徒の約80%が「ちょうどよい」と感じているのに対して、教職員の96%が「多い」と回答している。
- ・「1～10人」では、保護者と教職員の30%程度、生徒の70%が「ちょうどよい」と回答している。

(2) 1つの学級における適切な（理想的な）人数について（単位：％）

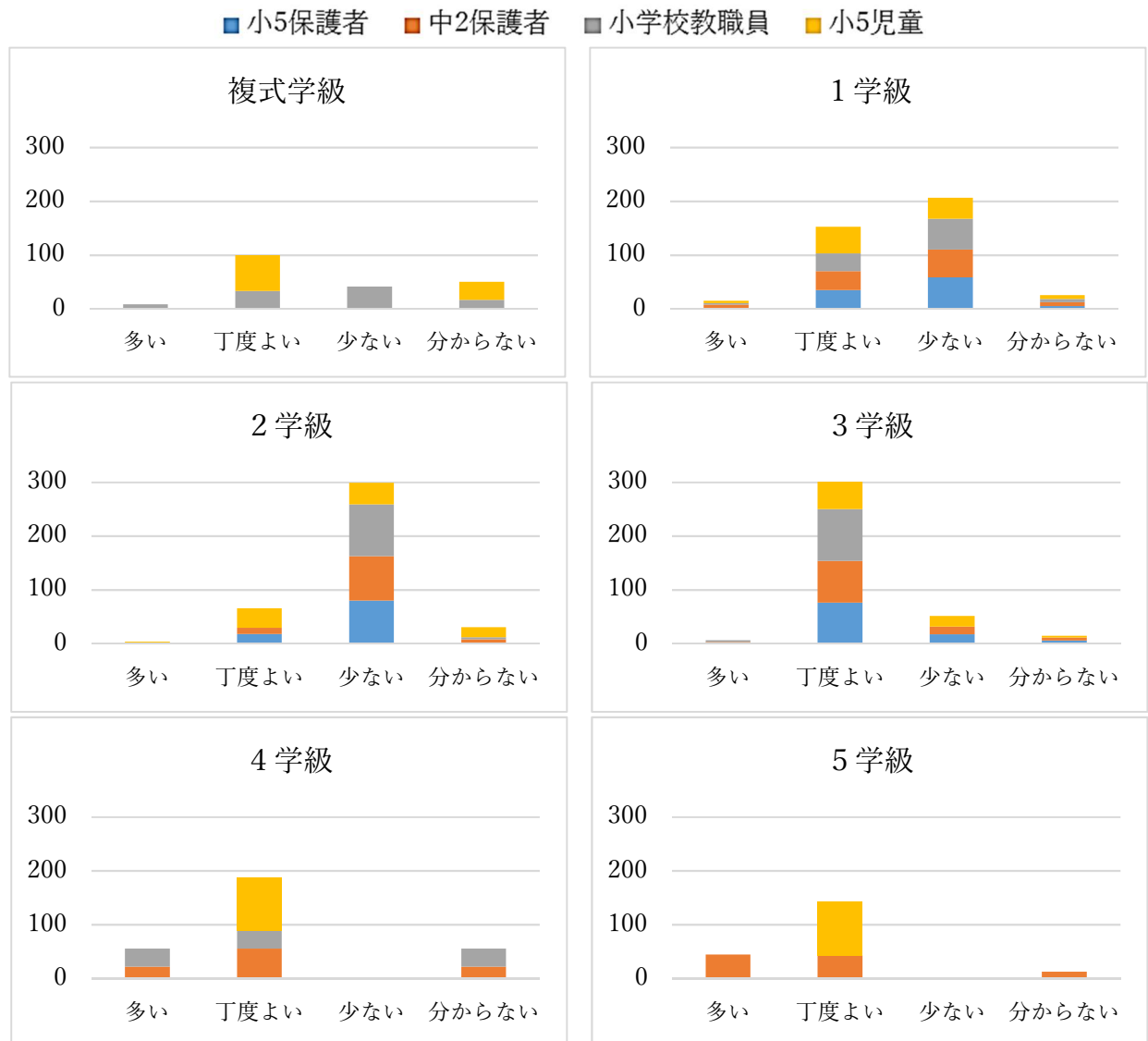
対象者	1～10人	11～20人	21～30人	31～35人
小5保護者	0.4	10.0	66.3	23.3
中2保護者	0.0	8.7	77.2	14.1
小学校教職員	0.0	13.1	78.0	8.9
中学校教職員	1.8	8.9	83.0	6.3
中2生徒	1.5	4.1	69.5	24.9

- ・すべての対象者において、「21～30人」を理想と考える割合が最も高かった。
- ・教職員は「31～35人」を適切と考える割合が他の対象者よりも低かった。
- ・小学校と比較すると「11～20人」の割合が低く、「31～35人」の割合が高い。中学校の方が小学校よりも1学級の人数が多い方がよいと考えていることが分かった。

【Ⅱ 1つの学年における学級数について】

1 小学校

(1) 現在、在籍している学年の学級数についての印象（単位：％）



・「3学級」が「丁度よい」という回答が最も多かった。「1～2学級」では「少ない」の割合が高かった。

・「1学級」は「少ない」という割合が高いが、「丁度よい」も「2学級」より高かった。

(2) 1つの学年における適切な（理想的な）学級数について（単位：％）

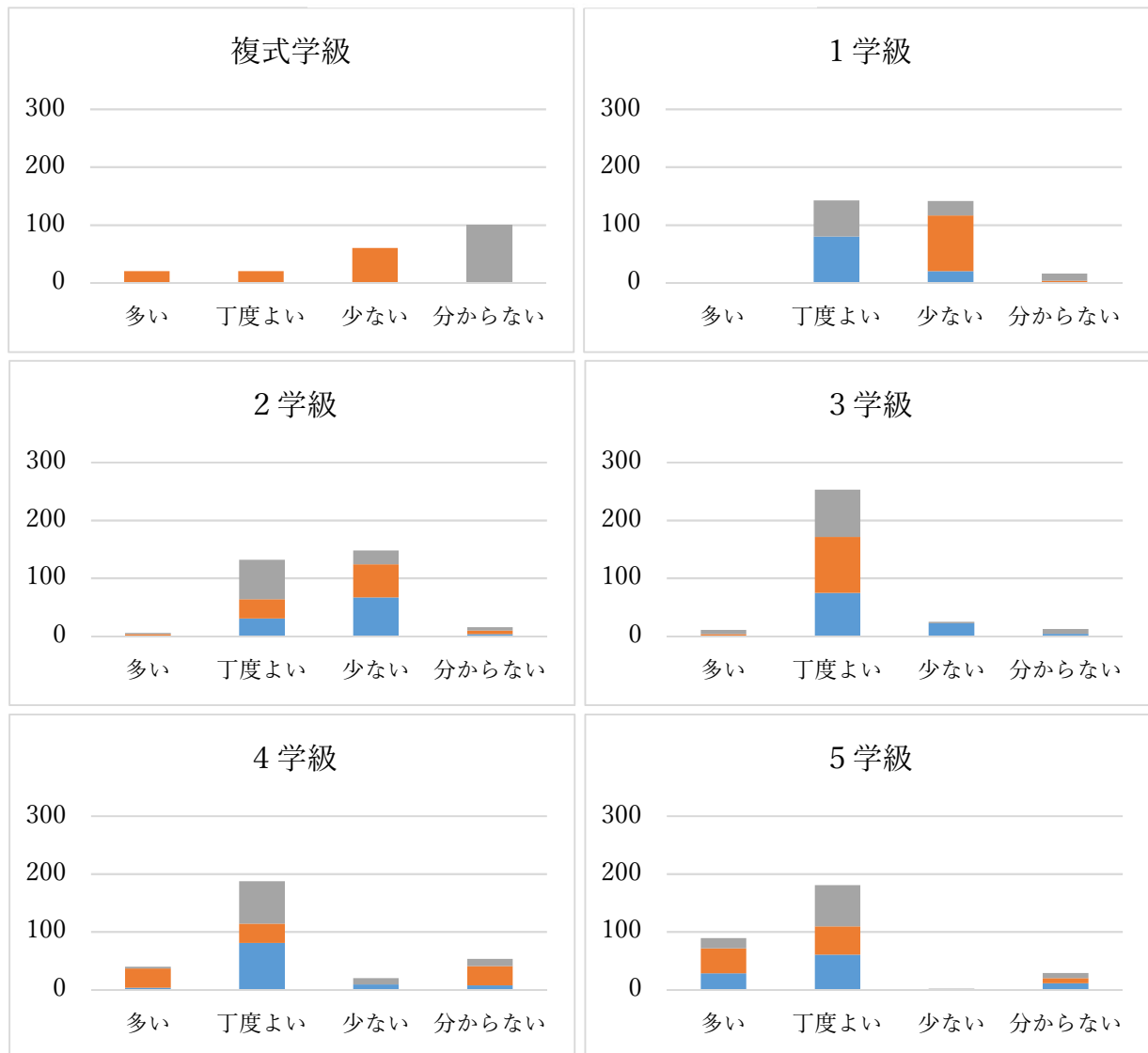
対象者	複式学級	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級
小5保護者	0.0	2.5	21.3	62.9	6.3	1.7
未就学児保護者	4.2	0.0	32.6	41.1	9.5	0.0
小学校教職員	0.0	0.0	9.5	82.1	4.2	0.0
中学校教職員	0.0	0.0	10.7	72.3	15.2	1.8
小5児童	0.3	4.2	35.5	38.9	8.5	4.5

・すべての対象者において「3学級」が最も多く、次に「2学級」が多かった。

2 中学校

(1) 現在、在籍している学年の学級数についての印象（単位：％）

■ 中2保護者 ■ 中学校教職員 ■ 中2生徒



- ・「3学級」が「丁度よい」という回答が多く、次に「4学級」と「5学級」が多かった。
- ・「1~2学級」では「少ない」が多く、「5学級」では「多い」の割合が高かった。

(2) 1つの学年における適切な（理想的な）学級数について（単位：％）

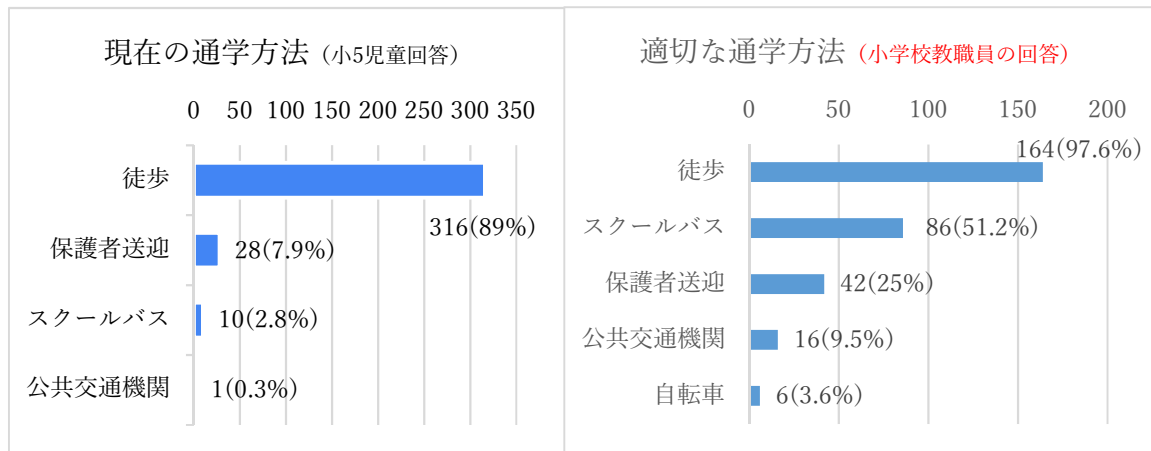
対象者	複式学級	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級
小5保護者	0.4	1.3	7.9	47.9	29.2	13.3
中2保護者	1.2	0.4	5.0	30.3	31.5	16.6
小学校教職員	0.0	0.0	9.5	82.1	4.2	0
中学校教職員	0.0	0.0	10.7	72.3	15.2	1.8
中2生徒	0.3	1.5	9.7	24.6	22.6	26.1

- ・ほとんどの対象者において「3学級」の割合が最も高く、次に「4学級」が多かった。
- ・教職員は、保護者や生徒に比べて「4学級」と「5学級」の割合が突出して低かった。

【Ⅲ 通学方法・通学時間について】

1 小学校

(1) 通学方法について



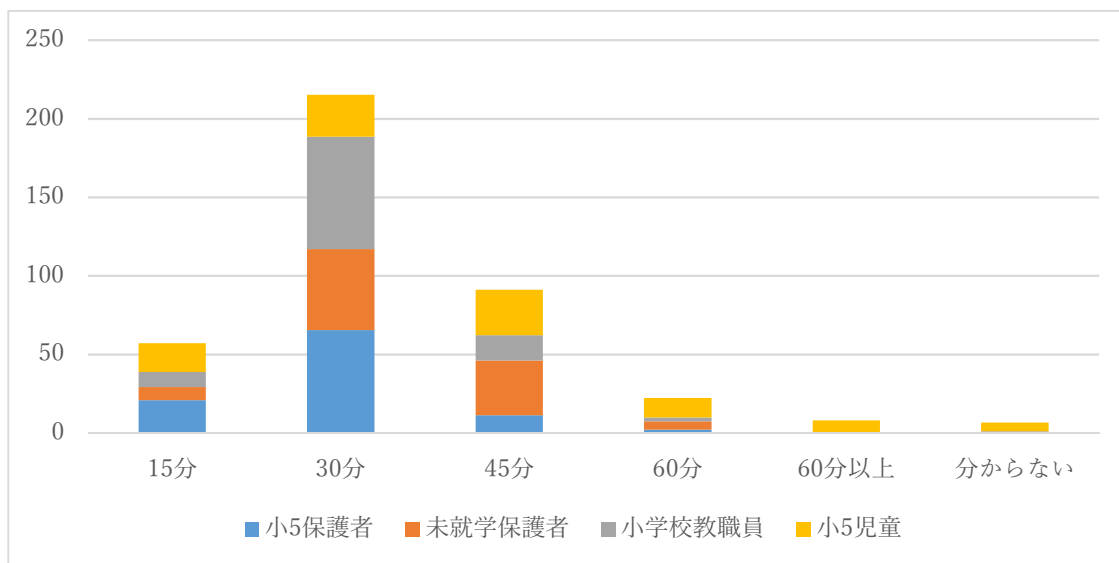
(2) 通学時間について

① 現在の通学時間

時 間	割合(%)
15 分未満	45.4
15 分～30 分未満	39.6
30 分～45 分未満	12.9
45 分～60 分未満	2.1

- ・現在の通学時間が 45 分未満の児童が全体の約 98%
- ・45～60 分未満と回答した 2.1%の通学方法は「徒歩」

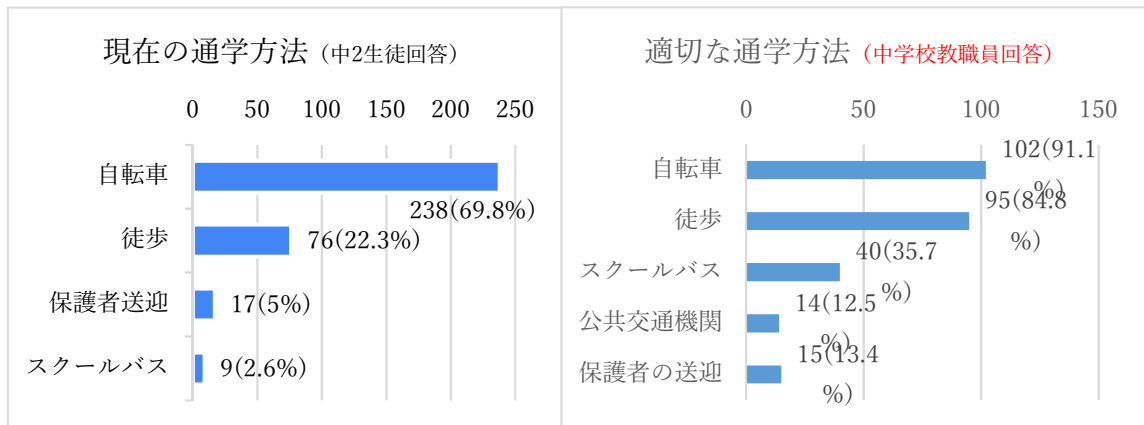
② 小学生の通学時間の限度だと思う時間（単位：％）



- ・通学にかかる限度の時間は「30 分」が最も多く、次が「45 分」となった。
- ・保護者は短い通学時間を望んでいることが分かった。

2 中学校

(1) 通学方法について



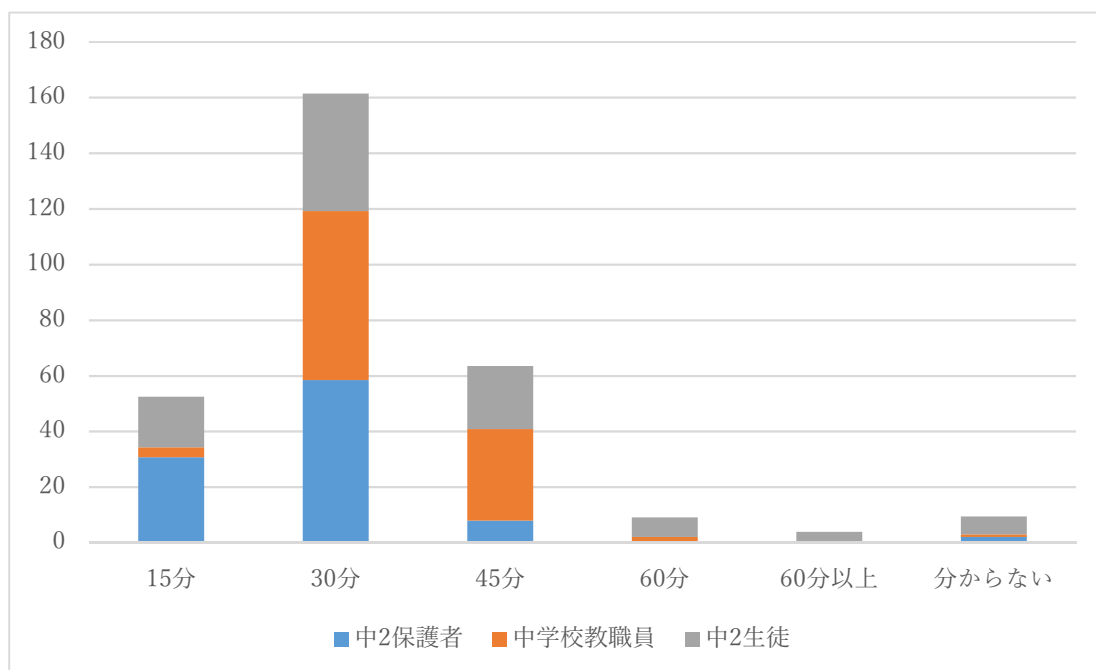
(2) 通学時間について

① 現在の通学時間

時 間	割合 (%)
15 分未満	56.3%
15 分～30 分未満	38.7%
30 分～45 分未満	2.3%
45 分～60 分未満	0.6%
60 分以上	0.9%

- ・現在の通学時間が 30 分未満の児童が全体の 95%
- ・45～60 分未満と回答した 0.6%の通学方法は「自転車」
- ・60 分以上と回答した 0.9 の通学方法は「自転車」と「公共交通機関」

② 中学生の通学時間の限度だと思う時間 (単位: %)



- ・通学にかかる限度の時間は「30 分」が最も多く、次が「45 分」となった。
- ・保護者は短い通学時間を望んでいることが分かった。

【Ⅳ まとめ】

1 1 学級の児童生徒数

小学校	「21～30 人」が適切	※25 人程度が適切という意見多数あり。 ※「11～20 人」を適切とする割合も次に高い。
中学校	「21～30 人」が適切	※「31～35 人」を適切とする割合も次に高い。 (教職員を除く)

2 1 つの学年における学級数

小学校	「2～3 学級」が適切
中学校	「3～4 学級」が適切

3 通学時間の限度

小学校	通学時間の限度は「30 分」	※次に「45 分」の割合が高い。
中学校	通学時間の限度は「30 分」	※次に「45 分」の割合が高い。

以上